

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)  
FAX63-5139



▲別ショットの写真

## 今月の表紙

今月の表紙は消防団春の総合訓練での1枚です。  
この日に向けて約1か月間、消防団のみなさんは、仕事をしながら早朝訓練、夜間訓練を重ねていました。お疲れさまでした。

# こうたの民話

## 『流れ石とまんどころ』

朝日さす 夕日輝く 山の根に  
黄金七箱 朱七通り

不動ヶ池の北側の山の中に、あたりいちめん小石がいっぱいのところがあります。

ちょっと見ると、水の流れたところのようにも見えますが、川ではないようです。そこだけが、まるで小石の川が流れたようになっていました。そのすみに、すりばちのようなくぼみがあります。土を入れ、うめておいても、明るる日に行ってみると、また、前のようになっています。本当にふしぎなところですよ。

ここを、村の人たちは、「流れ石」と呼んでいます。

「むかし、戦に敗れたさむらい大将が、いつの日か、お家再興に備えて、黄金をうめておいたそうよ。」  
「いやちがう。あそこは大じゃのすみかなんだ。そのしょうこに、なんと土をうめておいてもなくなってしまふ。それは、大じゃが息苦しいから、吹きとばすんだ。」

などといわれています。

そこで、ある時ある人が、うめられている黄金をほりだそうとしました。ところがと中で気持ち悪くなり、ねこんでしまったということです。

それから、  
「あそこを掘ると、病気になる。掘ってはいけない。」  
ということになり、もう誰も掘ろうとしなくなってしまったということです。

この、流れ石のすぐ近くに、「まんどころ」と呼んでいるところがあります。ここも流れ石と同じように、小石ばかりで、木の生えていないところですよ。ここにも、流れ石と同じような話が伝えられています。

朝日さす 夕日ささざる このお  
かに 小判七箱七通り

黄金は、本当にうまっているのでしょうか。

【こうたの民話 より】

## みんなの作品展!

平成27年度 幸田文化協会春の文化展  
書道からのセレクトです



ほんだ とうこう  
本多 東堂 さん



たにぐち ひさこ  
谷口 久子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

## 「はなやな」 7月19日

7月19日。明日は、子ども会のフットボール大会。でも、天気が気になつて眠れないお兄ちゃんに……  
「あした雨なん降らーか。てるてる坊主おじいちゃんがんばるくっ」といたもんだぞ!

「明日、雨なんて降るものか。てるてる坊主をおじいちゃんがぶら下げたおいたのだから」という意味です。

この「はなやな」は、この地方では「はなやかす」ともいって、西日本には「はなやな」という地方もあるように、「はなやな」と同系の言葉です。

「はなやな」を辞書で引くと、「はなやな」という言葉とある。この「はなやな」は、垂れ下がったさまを表しますが、「はなやな」と立ち寄るといえば、当てもないさまを表す。「はなやな」に言い換えることができます。「はなやな」は、揺り動かす意味の「振る」からきた言葉で、寒やで身が震えるさまを「はなやな」といふように、「はなやな」が濁って「はなやな」に転じたかゆいので「はなやな」と「はなやな」それぞれの擬態語「はなやな」と「はなやな」も、若干の違ひこそあれ、意味がよく似てゐるのだ。

「はなやな」は「はなやな」よりも「振る」に近い「はなやな」のほかに、古い言葉かもっとませせ。

(文・くろね)



青春トークリレー  
第268走者

もり としき  
森 斗志輝 さん

岩堀区在住 19歳 職業 大学生  
身長 167cm 血液型 A型  
好きなタイプ 秘密  
好きな芸能人 福山 雅治

僕の趣味は自転車に乗ることに  
す。去年念願かなってロードバイク  
を買うことができました。これ  
まで東京や鎌倉などの街を走ったり  
、家から大学まで行ってみたり  
と、1日80kmほど走ることも  
あります。1人の時は時速35km  
ほどで走りますが、父と走るとき  
はゆっくり親子の時間を楽しませ  
ます。

走っていて落ち着くのはやはり  
地元で、今まで知らなかった幸田  
町の穴場的なスポットを見つける  
ことができます。木々の間を走り  
抜けたり、両脇に稲を眺めながら  
走るのは季節の風を感じることが  
でき、とても爽快です。皆さんも  
一度自転車で幸田町の風を感じて  
みてはいかがでしょうか。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



小型で色鮮やかなアマガ  
エルは初心者向き。隠れ上  
手で足の速いツチガエルは  
中級。上級は、かえるの手  
足を伸ばし15センチ以上の

園周辺には沢山の田んぼ  
があり、そこに集まる小動  
物を捕まえようと夢中にな  
る子どもたち。中でもかえ  
る捕りは、姿が見えるよう  
で見えず、捕まえられそう  
で捕まえられない緊迫した  
戦いとなり、大いに盛り上  
がります。

『かえるにはへそがない?』

わんぱくだより  
「某月某日  
〜里保育園」



トノサマガエル(里保育園  
子ども基準)。手の平にの  
る大きさでは中級扱い。大  
型を捕まえると《カエル名  
人》と仲間から称賛されま  
す。

大切さ、命の大切さ、地  
域の方々のありがたさを感じ  
ながら育っている子ども  
たちです。

さて、かえるにはへそが  
ありません。子どもたちに  
とっては一大事件! 絵本  
でいます。

「おぼけかぞくのいちいち」  
(西平あかね: 作) 子どもの  
(とも) のお話の中で、おぼ  
けマートにかえるのへそ  
が商品として売られていま  
す。一体どうやっておぼけ  
はかえるからへそを捕り、  
売るのでしょう? かえるを  
捕まえてはお腹を確認し、  
仲間と想像しながら楽しんで  
います。

編集者の  
ひびく

「夢なら覚めくれ!」と毎朝、  
体重計の数字を見て思う編集者の  
Kです。

今年も暑い季節がやってしまし  
た。まちかどフォトニュースでも  
ご紹介していますが、温室ももの  
収穫の様子を取材させていただき  
ました。当日はテレビ局や新聞社  
の取材もいくつかあり、テレビや  
新聞で目にした人も多いかと思  
います。露地ものより1か月早く出  
荷するために、温室内で温度管理  
を徹底して育てる苦労について教  
えてもらいました。それでも「少  
しでも早く旬の味を届けたい」と  
作り手の思いを聞き、「食」につ  
いて思いを新たにしたい今月の取  
材でした。いつも食べこぼしの多い  
我が子にもよく聞かせたい内容で  
ございます(汗)。物事の背景を  
知ること、今までと違った景色  
が見えてくる、そんな機会に恵ま  
れたお仕事らせてもらっていま  
す。

さて、来月号では、町民プー  
ルオープンイベントの様子などを  
紹介したいと思っています。中学  
時代は水泳部でしたが、今は怖  
くて水着姿になれません!  
また、7月の取材活動では、子  
ども会のソフトボール大会や彦  
左まつりに行く予定です。ぜひ広  
報のカメラに笑顔をください!(K)